

# 平成28年度

## 石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅱ期）

### 「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で2年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

## 第7回、第8回研修会

○日時 平成28年9月12日（月）、13日（火）9：25～

○場所 石巻市立万石浦小学校体育館

○講師 広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



### ☆研修内容

12日午前：ピアサポートの理論（NEW PEER 概論）

午後：個と集団に対するベーシックスキル

13日午前：学校改善に向けたプロジェクトマネジメントの実際

午前：ピアサポート演習

### <受講者の声>

- ・ピアサポート活動の理論的なところを理解できた。本校では、ピアサポートとまではいかないが、縦割り活動を積極的に取り入れている。しかし、トレーニングの部分がなかった。2学期からSELを用いてトレーニングを行い、学校行事にピアサポートの理論を取り入れた実践を行っていききたい。（中学校男性）
- ・2つの輪をつくってのエクササイズでは、非言語のもつ影響が、集団の雰囲気や人間関係に大きく影響すると感じた。それを学ぶのがSELだということも実感した。また、生徒のニーズに気づき、適切なサポートが安心感・正当性を生み、信頼感や指導につながることを、勘ではなく、意識して生徒に関わっていききたいと考えた。（中学校女性）
- ・リーダーとして、どのような心構えで、どのようなことをしていくべきかという内容で、これまでとは違った角度から、この研修全体のことを考えることができました。グループでの話合いの中で、ピアサポート、SEL、協同学習などは、それぞれ関連し合っているということが話題になりました。また、PBISに取り組んでいる学校の例を基に、評価の仕方などについて具体案を考えることができ、充実した研修となりました。（小学校男性）
- ・現場ですぐ実行できそうな演習をたくさん経験させていただきました。どれも「相手の立場に立って」というのが根底にあり、実践する前に職員間で演習してみることで、子どもたちに、ねらいに沿った活動をさせることができるのではないかと思います。これまでよりも、さらに実践につながる研修内容になりましたが、常にどんな目的でどんなことに留意して行うべきか、理論に戻って確かめながら取り組む必要があると考えています。（小学校女性）

